



号

みぶ ぎがし

No. **200**
2022

R4 3月定例会

予算採決までの流れ

町長が
議会に
提出



町職員みんなで
つくりました



議会



予算の考え方や
狙いについて質疑



委員会



各項目を審査・採決

総務

教育民生

建設経済



議会



委員会審査への質疑
討論



採決

各議員の賛否は10、11ページをご覧ください

3月
定例会

壬生町新時代の
幕開け
過去2番目の大型予算
令和4年度予算を可決

一般会計予算

歳入歳出
166億円

特別会計予算

歳入歳出
79億円

水道事業会計・下水道事業会計

町民生活の大切なインフラとして、安定した収益を基に、将来の増設や修繕を見据えた予算であり、バランスが取れています。

令和4年度の主な事業

(抜粋)

いきいきふれあい応援事業
自治会の行事・健康増進イベント
・防災・業務のデジタル化を応援



コミュニティバス実証運行
町の主要な施設へ移動しやすく



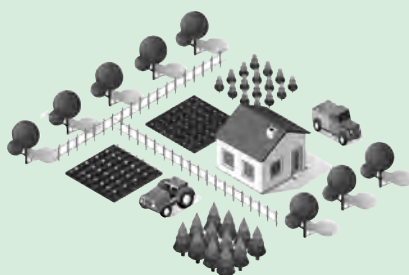
六美町北部土地区画整理支援
住みやすい街づくり



新産業団地整備
大きな工場誘致を推進



圃場整備推進
下稲葉、上稲葉、安塚・上長田



東京サテライトオフィス設置
町のスランディングや
マーケティングを推進



GIGAスクール構想推進
高度情報化時代に生きる子ども
たちの学習を支援



いちご一会とちぎ国体支援
・スポーツライミング
・銃剣道
・ターゲット・バードゴルフ



**新型コロナウイルス
ワクチン接種推進**



令和4年度予算を審査しました!

各会計新年度予算案について、「税金がどんなことに使われるのか、本当に必要な事業なのか」各常任委員会は3月2日から11日まで慎重に審査を行い、常任委員長が本会議で報告をしました。ここでは、各常任委員会で出された質疑の一部を抜粋、要約しています。

総務常任委員会



後藤委員長

委員長	後藤 節子
副委員長	落合 誠記
委員	江田 敬吉
〃	玉田 秀夫
〃	田村 正敏
〃	中川 芳夫

東京サテライト事業の開所形態と起業に結びつける方策は。



落合副委員長

答 共有の事務所スペースを借り、月に3回、年間36回ほど活動する予定で、企業の方等と一緒に訪れ情報交換や企業連携等、ベンチャーカフェにも参加し発表する機会を考えています。

消防団員報酬を改定したが、どのように比較すればいいのか。また、十分な活動予算の措置をとれないのか。



江田委員

答 年額報酬6万5千円と出勤時間に応じた報酬を足して平均で11万1千円になる予定で、従来と比較して1人当たり3万1千円の増額になる見込みです。また、消防団活動に使う装備品の充実も図っていきます。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、どのように使われるのか。



玉田委員

答 ※DX関係13事業に3千900万円弱、感染症対応関係7事業に1,730万円強、産業振興関係7事業に4,027万円ほどを充当する予定です。

※DX=デジタルトランスフォーメーション

納税促進キャンペーンの内容は。また、コロナ禍で個人住民税の増収を見込んでいるが。



田村委員

答 お殿様の米かお殿様のジャムを抽選で100人に進呈する口座振替推進キャンペーンを計画しています。また、コロナ禍を考慮した令和3年度の当初予算でしたが、見込みほど実績が低くならなかったため、高く積算しています。

10月からのコミュニティバス実証運行事業は、デマンドタクシーやゆうがおバスとの連携はあるのか。



中川委員

答 東武鉄道4駅と新庁舎と町内の主要施設を結ぶルートを考えています。現段階では他の公共交通との密接な連携や町全体を巡回するようなルートは難しく、足りない部分はデマンドタクシーを利用していただきたく、交通弱者の料金低減等の検討を進めていきます。

委員会での主な意見

- ◎職員用タブレットは、議会との両輪が揃うよう効率的に進めていただきたい。
- ◎デマンドタクシーの無料化や賃金の低減等、交通弱者への配慮をしていただきたい。

教育民生常任委員会



戸崎委員長

委員長 戸崎 泰秀
副委員長 市川 義夫
委員 赤羽根信行
小牧 敦子

大型商業施設開設に伴う睦小学
区の通学路の安全対策は。



市川副委員長

答 3人の交通指導員を配置し、開設後の交通状況に合わせて迅速に対応します。

証明書コンビニ交付事業の発行数は。

答 住民票約1,500件、印鑑証明書約1,200件、所得証明書約1,800件です。コンビニ発行の利用数は年々増加しており、令和4年度予算は増額計上しました。

清掃センターの火災や設備故障に対する管理体制は。

答 火災対応マニュアルの順守、モニター監視、チェックリストによる管理を徹底しています。



赤羽根委員

学力向上支援事業は国際化に伴い多言語に対応しているのか。

答 自動翻訳機を活用して意思疎通を図っています。語学支援の教員助手の配置を進めています。

医療的ケア児短期入所受入促進事業の実績は。

答 令和3年度の実績はゼロです。受け入れがあった場合、県の支援センターと連携し適切な支援をします。

オンライン授業の教職員の負担感は。

答 普段の授業からICT機器を用いています。一度作成したデジタル教材はクラウドで共有して負担を減らしています。



小牧委員

委員会での主な意見

◎睦小学区の通学路について、大型商業施設開業後の交通状況の変化に合わせて、迅速に安全対策を進めていただきたい。

建設経済常任委員会



遠藤委員長

委員長 遠藤 恭子
副委員長 鈴木 理夫
委員 大島 菊夫
田部 昇一
明男

新産業団地整備事業において進捗状況はいかがか。



坂田委員

答 現在、測量等を実施しており、基本計画及び排水計画の策定を進めています。地元では98%の同意をいただいています。

まちなか新規出店事業において、出店希望者を増やす取り組みは。



田部委員

答 新規に出店する店舗に対し、改装費の補助と家賃補助を商工会と連携し実施しています。商工会実施の勉強会や町でのチラシ配布により、周知を図ることで興味を持っていただきたいと考えています。

バリアフリー化整備事業の詳細は。



大島委員

答 おもちゃのまち駅において、エレベーターを東口に1基、西口に1基、中央の駅の入り口の階段に1基、計3基を設置します。駅構内には、障がい者対応型トイレの整備、改札口からホームまでの段差を解消するためにスロープの整備をする計画です。工事は令和4年度から5年度の2カ年の予定です。

おもちゃのまち駅自転車駐車場管理事業では、時間帯によって管理運営方法を変更したが、その詳細はいかがか。



鈴木副委員長

答 防犯カメラとLED照明を設置し、一定程度の安全性が見込まれたことにより、無人の管理の時間を設けます。無人の時間での定期的購入や更新等においては、別途管理人や職員が対応したいと考えています。



委員会での主な意見

- ◎農業委員と農地最適化推進委員の研修費の自己負担額が多いため、研修費の予算増額への検討をしていただきたい。
- ◎今後、更なる合併浄化槽の設置に向け推進していただきたい。

予算決議討論

(要旨)

定例会最終日の本会議において、各会計新年度予算案に対する採決に先立ち、賛成・反対の討論が行われました。

議案第24号 令和4年度壬生町一般会計予算決議について



反対 予算策定にあたり重視すべき視点の整理が不十分であり、7つの基本姿勢の内容にも疑問がある等から賛成できません。
(江田敬吉議員)



反対 住民の命と健康、暮らしや生業を守ることが不十分な予算であると考え、賛成できません。
(田部明男議員)



賛成 新庁舎への移転に加え、六美町北部地区における大型商業施設の開店など町の様相が大きく変わる大変重要かつ期待が高まる年度であるが、特色ある新しい事業が盛り込まれ、あらゆる分野にバランスの取れた予算案となっており、壬生町を新しいステージに導く予算として高く評価できることから賛成します。
(市川義夫議員)

議案第25号 令和4年度壬生町国民健康保険特別会計予算決議について

反対 理念や制度設計の誤り、公費負担割合の削減など、制度の根本的問題点の大本が国にあり、被保険者の命や健康を守りきれない制度を認めることはできず賛成できません。
(田部明男議員)



賛成 厳しい財政状況の中、財源を確保しながら住民の負担に配慮されており、未就学児に対する均等割額の軽減措置の実施や、賦課限度額の見直しで財政の健全化を図るなど、国民健康保険制度の安定した運営と維持のための確に予算を編成されたものと見受けられることから賛成します。
(大島菊夫議員)

議案第27号 令和4年度壬生町介護保険事業特別会計予算決議について

反対 国が社会保障に責任を持とうとしない姿勢であり、住民の介護を保障する制度になっていないと考え反対します。
(田部明男議員)



賛成 各介護サービスに対応した保険給付費が計上されるなど、現在の課題に対応した予算措置が適正になされていることから賛成します。
(坂田昇一議員)

議案第28号 令和4年度壬生町後期高齢者医療特別会計予算決議について

反対 高齢者を別枠に閉じ込める極めて非人道的な制度であり、後期高齢者の命と健康を守る制度とは言い難いものになっていると考え反対します。
(田部明男議員)



賛成 新規事業や窓口負担割合の見直しにかかる費用を計上するなど、後期高齢者医療制度の円滑な運営のための予算措置がなされていることから賛成します。
(田村正敏議員)

3月定例会

条例

企業版ふるさと納税基金を設置

企業版ふるさと納税は、国が認めた地方公共団体の事業に対し企業が寄附を行った場合に、最大で寄附額の約9割を当該企業の法人関係税から税額控除する制度です。同制度では、原則、寄附を頂いた当該年度の事業に寄附金を充てることとされていますが、本条例を制定することにより、翌年度以降の事業にも寄附金を充てることが可能となるものです。本会議で審議の結果、全会一致により可決しました。

いじめ防止対策の一層の充実を図る

本条例は、町、学校、地域、家

令和4年第2回定例会は、2月28日に招集され3月14日までの15日間の会期で開かれました。町長から提出された条例の制定3件、条例の改正等12件、町道路線の認定等2件、工事請負変更契約の締結1件、権利の放棄1件、補正予算7件、当初予算7件と、議員提出議案4件が上程され、いずれの議案も原案のとおり可決しました。

族その他関係機関等が一体となることで、いじめ未然防止策の一層の充実を図るとともに、もし重大な事態等が発生した場合に、組織的に対処できる体制づくりを推進するため制定するものです。本会議で審議の結果、全会一致により可決しました。

消防団員の報酬を見直し

消防団員の処遇改善が図られるように、消防団員の報酬に出勤報酬を創設するとともに、年額報酬の見直しを行うため、条例の一部を改正するものです。出勤報酬は、災害、警戒、訓練等の職務に従事した場合、出勤時間に応じて報酬が支給されるものです。年額報酬は、近隣市町の報酬を参考に引き下げられます。本会議で審議の結果、賛成多数により可決しました。

都市計画税ゼロを継続

平成25年度から都市計画税ゼロを実施していますが、令和4年度も課税しない措置を継続するように、条例の改正を行うものです。本会議で審議の結果、賛成多数により可決しました。

子どもの医療費助成を

高校3年生相当まで拡大

子ども医療費助成制度の対象を、中学3年生から高校3年生相当まで拡大するため、条例の一部を改正するものです。なお、県内医療機関を受診した際に、窓口負担が無い現物給付についても、引き続き維持されます。本会議で審議の結果、全会一致により可決しました。

返還請求権の放棄を可決

国民健康保険被保険者が、資格喪失後に保険証を提示し受診した医療給付費のうち、時効が成立している平成26年9月から平成31年1月分及び職権消除等の理由により返還の見込みがない平成31年4月から令和元年11月分の返還請求権を放棄することについて、議会の議決を求めるものです。本会議で審議の結果、全会一致により可決しました。

ロシアのウクライナ侵攻に断固抗議する決議を可決

ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議について(要旨)

提出者 壬生町議会議員 赤羽根信行
賛成者 壬生町議会議員 田村 正敏
戸崎 泰秀

ロシアのウクライナへの侵攻は、ウクライナの主権と領土を侵害し、多数の民間人を含む人々の命を奪っている。また、原子力発電所への攻撃は、大規模な環境災害を招きかねないものである。

このような武力による行為は、国際連合憲章に違反し、国際社会の秩序を根幹から揺るがすものであり、断じて容認することはできない。

ここに壬生町議会は、ロシアに対し、ウクライナへの武力による侵攻を直ちに中止し、完全撤退することを強く求める。また、ウクライナ在留邦人の安全確保に努めると共に、国際社会と連携したロシアへの制裁措置を徹底し、国際平和に向け行動する日本政府を支持するものである。

以上、決議する。

令和3年度 補正予算 (令和4年3月定例会可決)

会計名等		補正額	補正後の予算	補正の主な理由
一般会計 (第10号)		3億3,628万6千円	206億3,812万4千円	各事務事業の精査を行い過不足額を計上するとともに、新型コロナウイルス感染症への対応、国の補正予算への対応、国・県補助事業の確定に伴う減額などを計上したものの。 <ul style="list-style-type: none"> 普通交付税【歳入】 2億4,521万6千円 障害者自立支援給付事業 5,527万7千円 新型コロナウイルスワクチン接種臨時推進事業 4,424万9千円 重要物流道路改良事業 4,100万円 教育施設安心安全確保事業 1,215万円
特別会計	国民健康保険 (第2号)	1億1,048万6千円	42億9,108万5千円	歳入歳出全般について見直しを行い編成したものの。 <ul style="list-style-type: none"> 普通交付金【歳入】 1億1,100万円 職員給与費 △60万円 一般療養給付費負担金 1億1,100万円
	奨学資金 (第1号)	△50万1千円	280万円	事業費の確定による減額を計上したものの。 <ul style="list-style-type: none"> 奨学資金支給基金繰入金【歳入】 △49万5千円 奨学資金補助金 △50万円
	介護保険事業 (第2号)	△5,789万1千円	34億1,305万7千円	歳入歳出全般について見直しを行い編成したものの。 <ul style="list-style-type: none"> 現年度分介護給付費交付金【歳入】 △1,452万円 居宅介護サービス給付費負担金 4,341万2千円 施設介護サービス給付費負担金 △1億799万8千円
	後期高齢者医療 (第2号)	△2,715万9千円	4億7,851万1千円	歳入歳出全般について見直しを行い編成したものの。 <ul style="list-style-type: none"> 保険基盤安定繰入金【歳入】 32万2千円 広域連合納付金 (徴収保険料) △2,571万9千円 後期高齢者健康診査等事業 △176万2千円
水道事業会計 (第2号)	収益的収入	11万8千円	6億7,789万5千円	営業収益の手数料等及び各項目の所要額の精査によるもの。
	収益的支出	△1,407万8千円	5億1,210万5千円	
	資本的収入	△1,373万2千円	1億9,515万円	事業費の確定等及びメーター費の不要額減額によるもの。
	資本的支出	△683万5千円	8億2,611万6千円	
下水道事業会計 (第2号)	収益的収入	4,181万円	16億4,727万5千円	営業収益の使用料等及び各項目の所要額の精査によるもの。
	収益的支出	△449万5千円	14億1,002万8千円	
	資本的収入	8,535万9千円	9億2,753万8千円	事業費の確定及び各項目の所要額の精査によるもの。
	資本的支出	9,907万1千円	14億8,762万円	

陳情の審査結果

3月定例会で審査の終了した陳情は次のとおりです。

不採択になったもの



令和3年陳情第3号 国に対し「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の提出を求める陳情

(検察手持ち証拠の全面開示と再審開始決定に対する検察官の不服申し立て(上訴)の禁止について、国へ意見書の提出を求めるもの)

令和4年3月定例会議決結果と賛否状況

※玉田秀夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	議決結果	後藤	田部	戸崎	遠藤	赤羽	小牧	坂田	田村	中川	江田	市川	鈴木	大島	落合
			節子	明男	泰秀	恭子	根信行	敦子	昇一	正敏	芳夫	敬吉	義夫	理夫	菊夫	誠記
議案第1号	壬生町企業版ふるさと納税基金条例の制定について (企業版ふるさと納税による寄附金を翌年度以降の事業にも活用できるよう基金を設置するため条例を新しく制定するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	壬生町いじめ防止対策推進条例の制定について (町、学校、地域、家庭、その他関係機関等が一体となりいじめ未然防止策の充実を図るとともに、いじめに組織的に対処できる体制づくりを推進するため条例を新しく制定するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のために講じる措置に係る関係条例の整備に関する条例の制定について (国家公務員の妊娠・出産・育児等と勤務環境の整備に関する措置との権衡をはかるため関係する3条例を改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	壬生町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について (出勤報酬を創設し報酬見直しを行うことで消防団員の処遇改善を図るため条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第5号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について (非常勤特別職である各種委員の報酬額を新設及び改正することについて条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	壬生町個人情報保護条例の一部改正について (個人情報に関する2つの法律が廃止となることから町条例で引用している規定について改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	平成7年度分の固定資産税等の納期の臨時特例に関する条例等の廃止について (条例を精査する中で既に効力を失っていると判断できることから条例を廃止するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	壬生町都市計画税条例の一部改正について (市街化区域における税負担の軽減を図るため都市計画税を令和4年度も引き続き課税しないよう条例を一部改正するもの)	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第9号	壬生町国民健康保険税条例の一部改正について (健康保険法関係政令の施行に伴う未就学児の均等割軽減措置の導入及び賦課限度額の引き上げを行うために条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第10号	壬生町子ども医療費助成に関する条例の一部改正について (子ども医療費助成制度の対象を中学校3年生から高校3年生相当まで拡大するよう条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	壬生町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について (身体・知的障害者における助成対象者との均衡を図り、精神障害者保健福祉手帳1級所持者を助成対象者に追加するよう条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	壬生町印鑑条例の一部改正について (印鑑登録関係様式から性別記載をなくし印鑑登録証明書を交付できるよう条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	壬生町道路線の認定について (18路線の町道認定について議会の議決を求めるもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	壬生町道路線の変更について (7路線の変更について議会の議決を求めるもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	新庁舎第2駐車場整備工事請負変更契約の締結について (新庁舎第2駐車場の整備工事について9,066万2千円で変更契約を締結することに議会の議決を求めるもの)	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	権利の放棄について (町国民健康保険被保険者が資格喪失後に保険証を提示し受診した分の医療給付費のうち平成31年1月31日受診分以前の返還請求権を放棄すること等について議会の議決を求めるもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	令和3年度壬生町一般会計補正予算(第10号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	令和3年度壬生町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	令和3年度壬生町奨学資金特別会計補正予算(第1号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	令和3年度壬生町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	令和3年度壬生町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	令和3年度壬生町水道事業会計補正予算(第2号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	令和3年度壬生町下水道事業会計補正予算(第2号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	令和4年度壬生町一般会計予算決議について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第25号	令和4年度壬生町国民健康保険特別会計予算決議について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

令和4年3月定例会議決結果と賛否状況

※玉田秀夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	議決結果	後藤節子	田部明男	戸崎泰秀	遠藤恭子	赤羽根信行	小牧敦子	坂田昇一	田村正敏	中川芳夫	江田敬吉	市川義夫	鈴木理夫	大島菊夫	落合誠記
議案第26号	令和4年度壬生町奨学資金特別会計予算決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	令和4年度壬生町介護保険事業特別会計予算決議について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	令和4年度壬生町後期高齢者医療特別会計予算決議について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	令和4年度壬生町水道事業会計予算決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	令和4年度壬生町下水道事業会計予算決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について (人事院勧告及び県人事委員会の勧告に準じて期末手当の支給月数を年間で0.1月引き下げるよう条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	壬生町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について (人事院勧告及び県人事委員会の勧告に準じて期末手当の支給月数を年間で0.1月引き下げるよう条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	壬生町職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について (人事院勧告及び県人事委員会の勧告に準じて期末手当の支給月数を年間で0.15月引き下げるよう条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	壬生町議会委員会条例の一部改正について(議員提出) (町部課設置条例の一部改正にならない部名を改めるもの、及び委員会をオンラインによる方法を活用して開催できるよう条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	壬生町議会会議規則の一部改正について(議員提出) (議会の会議の実態に合わない部分について改めるもの、及び全員協議会をオンラインによる方法を活用して開催できるよう条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	壬生町議会傍聴規則の一部改正について(議員提出) (新庁舎への移転に伴い傍聴席の区分等に変更が生じることから条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議について(議員提出)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

1月臨時会

令和4年第1回臨時会は1月17日に開かれました。
町長から提出された専決処分の承認1件、補正予算1件の2議案が上程され、いずれの議案も原案のとおり可決しました。

専決処分

補正予算を承認

子育て世帯への臨時特別給付金について、10万円の現金による一括給付に要する費用を、補正予算として予算措置する専決処分を全会一致により承認しました。

令和4年1月臨時会議決結果と賛否状況

※玉田秀夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	議決結果	後藤節子	田部明男	戸崎泰秀	遠藤恭子	赤羽根信行	小牧敦子	坂田昇一	田村正敏	中川芳夫	江田敬吉	市川義夫	鈴木理夫	大島菊夫	落合誠記
議案第1号	専決処分第5号の承認を求めることについて (子育て世帯への臨時特別給付金に要する費用を令和3年度壬生町一般会計補正予算(第8号)として予算措置をしたもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和3年度壬生町一般会計補正予算(第9号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和3年度 補正予算 (令和4年1月臨時会可決)

会計名等	補正額	補正後の予算	補正の主な理由
一般会計(第8号)	2億8,250万円	197億6,267万4千円	子育て世帯への臨時特別給付金に追加に要する費用を計上したものの。 ・子育て世帯への臨時特別給付金 2億8,250万円
一般会計(第9号)	5億3,916万4千円	203億183万8千円	子育て世帯や困難に直面している世帯に対し適切な配慮を行うための費用のほか、子育て世帯が働く環境を支える保育士等の処遇改善に要する費用を計上したものの。 ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業 4億9,633万8千円 ・子育て世帯への臨時特別給付金支給事業 3,529万円 ・保育士等処遇改善臨時特例事業 753万6千円

ここが聞きたい

一般質問

Q & A



ふるさと納税返礼品の拡充を

町長 地域資源を生かした返礼品の拡充を図っていきます



戸崎 泰秀 議員

増収に努めていきます。

問 返礼品の発送や請求に関する事務量の軽減を図る施策は。

総合政策課長 ポータルサイト

で申込みいただき、返礼品事業者さんへの連絡やその他の事務は職員と会計年度任用職員で行います。今後、寄附額がさらに増やせるような状況になれば、民間委託を導入していきたいと考えています。

働きやすい環境の整備を

問 専門家のケアが必要な子どもの一時預かり施設のニーズは満たせているか。

民生部長 町内では壬生町こ

ども発達支援センタードリムキッズのほか合計3か所ですが、町外事業所の利用も可能で、近隣市町の12事業所の

利用実績があり、現時点では需要に対応できていると考えています。

問 ニーズが大きな地域において預かり施設の拡充の計画はあるか。

民生部長 事業所の認可を行

う県と相談支援専門員と連携を図り、サービスが利用しやすい環境づくりを進めていきます。

健康福祉課長 保護者のご意見等を聞きながら、どのようなところに施設があると便利なのかを検討課題としていきます。

問 返礼率以上の満足を得てもらうための返礼品の育成についての施策は。

町長 獨協医科大学病院の間ドック割引券やおもちゃ博物館無料券を用意していますが、従来の商品・モノによる返礼品の充実を図ることはもとより、新たな付加価値をつけた体験・コトによる商品を生み出すよう、返礼品の拡充を図っていきます。

総合政策課長 新年度に向け、

コストコホールセールジャパンの年会費を返礼品としてラインナップできるよう計画中です。

問 ふるさと納税の財政への影響は。

町長 寄附の翌年は普通交付税措置がなく、財政調整基金などの基金繰入れで対応し、流出額の75%が翌年度の普通交付税に反映されるので、最低限3千万円プラスを維持し



魅力あふれる壬生町の地域資源

ここが聞きたい

一般質問

Q & A

地

域おこし協力隊の制度 地域力の維持強化の取組みは

町長 町の課題解決やPR強化を目的に雇用を図っていきます



坂田 昇一 議員

を深めています。

問 任期終了後の隊員は町の定住につながり地域力の維持強化に継続的に貢献しているか。

町長 これまで3人の隊員に活動いただき、西堂路淳さんは、任期終了後も本町に住所を構え、月例マラソンやロゲイニング大会の開催等、活動を続けていただいています。

担い手への農地集積 集約を推進する取組は

問 農地の利用権設定貸し手及び借り手が農地バンクを利用する際のメリットは。

農政課長 公的機関の農地バンクが間に入ることにより、貸し手には、賃料が確実に振り込まれ、賃借期間終了後必ず農地が返還されます。借り手にとっても、賃料の支払先を農地バンク一本にでき、規模拡大を目指す方ほど事務負

担の軽減を図れます。

問 人・農地プランにおいて農地バンクを軸として推進する農業委員と農地利用最適化推進委員は、どのような役割を担い、かわっていくのか。

農業委員会事務局長 農地の集積・集約化には農地中間管理機構との連携が最も効果的

であることから、農地のマッチングをする際には、農地の出し手、受け手に農地バンクを積極的に活用するよう働きかけていただいています。また、地域の農業者の集まりにおいて、農地バンクの仕組みや手続きの方法などについて、周知を図っていただ

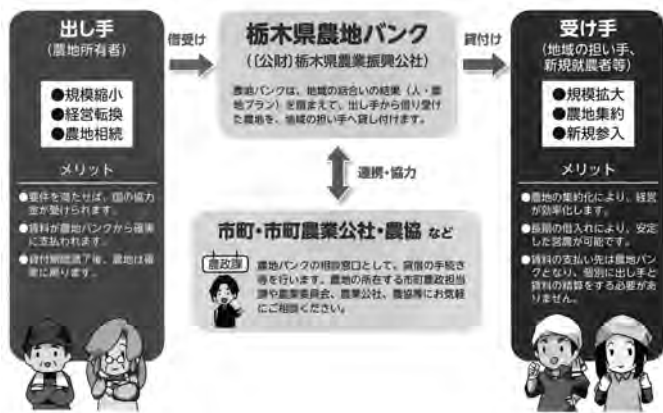
問 「地域おこし協力隊」制度の概要と協力隊に期待するものは。

町長 地域協力活動を行いながら、定住・定着を図る取組で、専門的なスキルを生かしたまちづくりのサポートと、活動を通じて地域に溶け込み、任期終了後には継続的な地域活性化と人口減少の抑止策として定住していただくことを期待しています。

問 協力隊員は何人いて、どのような活動に従事しているか。

町長 現在は1人です。ケニア出身のガンドウ・ベンジャミン・デゴワさんが、本町にランニング文化を根づかせ町民の健康づくりや競技力の向上を図ることを目的に、小・中学校の体育の授業や部活等の活動、駅伝チーム選手との楽しさを伝えながら交流

農地バンク事業の仕組みとメリット



コロナ対策の総合窓口設置を

民生部長 接種に関する情報は随時住民へ周知しています

Q&A

ここが聞きたい 一般質問



田部 明男 議員

就学援助の拡充を

問 自己申告だけで就学援助の申請を受け付けるべきです。

教育次長 対象児童生徒の生活状況を把握できる学校長や民生委員の所見をいただき就

学援助の認定審査がより実際の生活状況に即した公平で公正なものになるよう努めます。

問 就学援助の基準を引き上げてはどうですか。

教育次長 生活保護基準額と

同基準であり所得額のみ限定した認定とならないよう、可能な限り児童生徒の生活実態を把握し、柔軟で適切な認定となるよう努めています。

問 医療機関に協力を求め、「いつでも、何度でも、早くPCRなどの検査を受けられるようにすべきです。

健康福祉課長 町で実施できる範囲のPCR検査は、今後も継続していきたいと思

います。また、県や国で実施しているPCR検査についても町で協力できる範囲で対応しています。

問 ワクチン接種を加速するため、ワクチンの速やかな配布など、国に要望すべきです。

民生部長 国の前倒しの方針により、町では集団接種の日程を急遽追加したほか、各医療機関でも個別接種枠を増や

し対応しています。

令和3年度 就学援助費受給申請書 (兼同意書)

(申請・継続) 申請日 年 月 日

壬生町教育委員会 申請者 住所 壬生町 (保護者) 氏名 自宅 連絡先 携帯

就学援助を受給したいので同意・承諾し、申請いたします。

この申請にあたっては、壬生町教育委員会がその認定審査に必要とする場合の住民登録上の申請者・同一住所及び申請者の所得額に基いた全員の生活保護手続等の調査、児童扶養手当受給状況、生活保護費受給状況等を関係民生委員児童委員が自らを訪問し、生活状況等の調査を行うことについて同意いたします。助成対象費目に届納が生じている場合には、支給された就学援助費を充当することを承諾します。

また、福祉関係機関からの認定状況の照会について同意いたします。

家族の状況

※住民登録上の世帯の別にかかわらず、同一住所で世帯を共にする家族全員を記入してください。

※世帯員全員の前年の所得を調査しますので、必ず税の申告を高めてください。申告していないと認定できない場合があります。

※民生委員が生活状況等の調査のため訪問する場合があります。

児童生徒					
氏名	生年月日	学級	学年	学年別所得額	申請の有無
	年 月 日	小・中学校	年	有 無	
	年 月 日	小・中学校	年	有 無	
	年 月 日	小・中学校	年	有 無	
	年 月 日	小・中学校	年	有 無	

世帯員 (申請者を除く家族)					
氏名	生年月日	職別	所得額 (A+B+C+D+E)	申請の有無	備考
	年 月 日			有 無	
	年 月 日			有 無	
	年 月 日			有 無	
	年 月 日			有 無	
	年 月 日			有 無	

住宅の区分 持ち家または共同 賃貸住宅 児童扶養手当受給 有 無 ルーター設置 有 無

申請理由 必ず記入してください。

※援助を必要とする事由をできるだけ詳しく記入してください。

壬生町就学援助費受給申請書

ここが聞きたい

一般質問

Q & A

消

防庁長官通告の実行は

町長 消防団員の処遇改善を推進します



江田 敬吉 議員

に出されていると解釈をしています。

今回の出勤報酬の創設による報酬面での改善や、出勤体制の見直しによる消防団活動の負担軽減を同時に進めています。

問 消防庁長官は、消防団員の処遇改善を全国の知事と市町村長に対し、この4月までに実行するよう、通達を出しましたが壬生町は、

年間の報酬額は過去の出勤実績から試算すると、団員1人当たり年間で4万6千円となり、総額で約550万円の増額となります。

町長 報酬について年額報酬を見直すと同時に、出勤報酬を新設します。年額報酬は、

県内他市町よりも高く設定していましたが各階級で引下げします。出勤報酬は時間ごとに3区分して支給します。

年間の報酬額は過去の出勤実績から試算すると、団員1人当たり年間で4万6千円となり、総額で約550万円の増額となります。

問 81自治会の違法寄付を廃止するためにも団員の報酬を大幅に引き上げることが求めます。

総務課長 寄付については、団員への感謝とねぎらいの気持ちを含めて、自治会から団

問 消防庁長官は、消防団の活動費の予算化を求めています。が、壬生町の実態は、消防団の末端組織15部2百人の活動予算が0(ゼロ)円で、15部に対し、年間総額百万円の少額補助金です。

総務課長 7部に7万2千円、8部に6万2千円で合計100万円です。部の活動を補助する資金として支出しています。多くは軍手や革手袋等の備品の購入費用です。町としては消防団員の活動に資するものを用意していきます。

問 消防団の末端組織15部の規模もアンバランスで、組織の規模に関係なく、各部に消防車1台と団員14人となっていますが、各管内の住民世帯数は、大きい部は18自治会で約3千世帯なのに、小さい部は、1自治会で世帯数は170程度であり、部組織の再編が必要ではないか。

総務課長 消防団は、地域や自治会とのつながりも深く、世帯数だけで判断できない事情があります。しかし、差があることも確かです。今後も団本部と自治会とで協議を進めて、方向性を決めていきます。



ここが聞きたい

一般質問

Q&A

空

き家バンク運営に民間のプラットフォームを

建設部長 民間活力の活用を検討していきたいと考えています



小牧 敦子 議員

問 空き家のマッチングに民間活力を導入し、実績を向上させる考えは。

建設部長 空家対策協議会

に、アドバイスをいただきながら、民間活力を最大限活用するなど、さまざまな手法を検討し、状況に応じて適正な判断をしていきたいと考えています。

問 空き家数の推移と今後の見込みは。空き家の増加は町民の暮らしに対し、どのような懸念がありますか。

建設部長 平成26年度の実態

調査では、306件の空き家を確認しました。高齢者世帯数の推移などから増加傾向にあると考えています。

建設課長 住民の生活環境に与える影響として、樹木の繁

茂や害虫、害獣などの問題が懸念されるため、巡回などで状況を確認し、事前に指導等を行うよう努めています。

問 空き家バンク事業の実績はどのようか。また、今後の空き家対策の考えは。

建設部長

令和3年度までに

空き家バンクには累計16件の物件登録があり、うち5件が空き家バンクリフォーム補助金制度を活用し、リフォーム工事を実施しました。今後も空家バンク制度の各種補助金を最大限活用できるよう、制度のPRを推進するとともに、関係団体との連携強化に加え、自治会や不動産業者とも連携し、物件登録数の増加に努めています。

問 大規模災害時の二次災害防止のために緊急事態への対応を空家等対策計画に盛り込む考えは。

建設課長

近隣市町の事例を

踏まえ、研究しながら、必要に応じて進めていきたいと考えています。

民間活力導入イメージ



二開発区の私道への対応を問う

建設部長

公共性の高い私道には安全確保等を図っています

Q&A

ここが聞きたい 一般質問



落合 誠記 議員

問 ①空き家対策の成果&「特定空き家」の有無を伺う。
②自治体への採納等が叶わない、未舗装、砂利敷きの私道の把握・対応を伺う。
③冠水・浸水箇所への対応を伺う。
④通学路の保全やカーブミラーの設置等安全対策を伺う。国谷駅周辺等、狭隘な道路の災害時の対応を伺う。

建設部長 ①平成30年度から、倒壊の恐れのある空き家の除

去費の一部を補助しており、令和3年度までに7件の解体補助をしました。衛生上有害である特定空き家に該当する物件は、ありません。
②全ての私道を把握することは困難ではありますが、公共性の高い私道については、利用者の安全確保や利便性向上を図ります。
③国谷駅南西部地区や鍋小路地区については、雨水幹線管渠や側溝整備を行いました。また、雨水の流出先がない地区には、雨水浸透による排水

処理を行っています。
④通学路安全プログラムに基づき、合同点検を行い、適切な安全対策を実施しています。カーブミラー等の交通安全施設は、優先順位をつけ、順次整備します。また、幅員の狭い道路での救助活動がスムーズに行えるよう、道路の利用状況や地元の合意形成など総合的に勘案し、その整備方法について研究していきます。

アフターコロナの官民連携を問う

問 ①NPOや委託業者、指定管理等との連携状況を伺う。
②多くの自治体で窓口業務の民間委託が導入されているが、見解を伺う。
③内閣府による、成果運動型民間委託契約方式の活用を検討、見解を伺う。

総務部長 ①NPOへの委託として歴史民俗資料館で羽生

田古墳群の清掃業務を行っており、指定管理者制度では13施設で管理運営業務を委託しています。また包括的民間委託として、水処理センターの維持管理を委託しています。
②様々な成果が得られる有用な手段の一つと考えます。導入にあたっては、本町にあつ

た窓口業務の在り方について、調査・研究していきます。
③本町では、まだ活用実績はありませんが、今後は、官民連携プラットフォームを活用しながら、十分に検証していきます。



道路や側溝の傷みが顕在する住宅街（安塚地内）

TOWN VOICE

町民の方の声を
紹介します

壬 生町のいいところは、自治会や町内会など、協力して行う活動が多いことです。

老若男女を問わず、地域の人々との交流の場が多くて良いと思います。

みぶ町の
ここが好き



こんな町に
なってほしい

たかむら れお
高村 麗央 さん

18歳(先日高校を卒業しました)

僕 を含め、公園でサッカーやバスケをやっている子どもが多いので、スポーツができる施設を増やしてほしいです。

全国町村議会議長会表彰

市川義夫議員、鈴木理夫議員が、町議会議員在職15年以上の功績を称えられ、全国町村議会議長会長から自治功労者表彰を受賞されました。



会議録検索システムの案内

本会議・一般質問の会議録は、町公式ウェブサイトの議会ページでご覧いただけます。平成14年以降の会議録を閲覧することができます。

令和4年3月定例会の会議録は、5月下旬に掲載する予定です。



こちらのQRコードからもご覧いただけます。▶



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

議会広報特別委員会

委員長	遠藤 恭子
副委員長	戸崎 泰秀
委員	坂田 昇一
〃	後藤 節子
〃	田部 明男

町議会議員選挙も終わり、新たな議員の顔ぶれが揃いました。「議会だより」第二〇〇号は、前年度に開いた臨時会と定例会の内容ですが、これらの議会活動一つひとつが、次のステップに積み重なると感じています。

ロシアのウクライナ侵略に直面し、「住民のみなさんの平穏な暮らしを守るためには、町議会も国際問題とは無縁じゃない」と痛感した昨今です。

新庁舎の開庁も目前。新型コロナウイルスへの対策や暮らし支援、教育や福祉の課題など、新たな場面と課題が待っています。新一年生のようになり気持ちを新たに、議会活動に取り組みたいと思います。

田部明男

編集
集
後
記

